

平成二十六年年度金沢大学資料館特別展

超然

～ 第四高等学校の校風と学生たち ～

写真「玄關の屋根に並んで・・・」(大正後期から昭和前期 四高同窓会蔵) *写真は加工しています

■会場 金沢大学資料館展示室 ■開館時間 十時～十七時(入館は十六時四十五分まで) ■入場料 無料
■会期 平成二十六年十月十五日(水)～平成二十六年十一月二十八日(金) 日曜・祝日及び十月十八日(土)閉館。ただし、十一月二日(日)三日(月祝)は開館



主な展示品

超然趣意書（四高同窓会蔵）／「超然」扁額（四高同窓会蔵）／岡上梁書「超然」の扇（四高同窓会蔵）／第四高等学校火災復旧寄宿舎全面ノ図（石川県立歴史博物館蔵）／四高プール設計図（本館蔵）／北條時敬ノート（金沢市立玉川図書館近世史料館蔵）／時習寮記念祭絵葉書（本館蔵）／『時習寮業務日誌』（本学中央図書館蔵）／時習寮文化部『時習寮報』（本学中央図書館蔵）／『南下軍（柔道部日誌）』（本館蔵）／四高制服一式（本館蔵）／四高手ぬぐいコレクション（本館蔵）等

このほか、四高時代の建物・学生生活等の写真パネル、四高同窓会関係の諸資料、金沢大学の運動部等と四高とのつながりを示す資料、OBのインタビュービデオなども展示します。



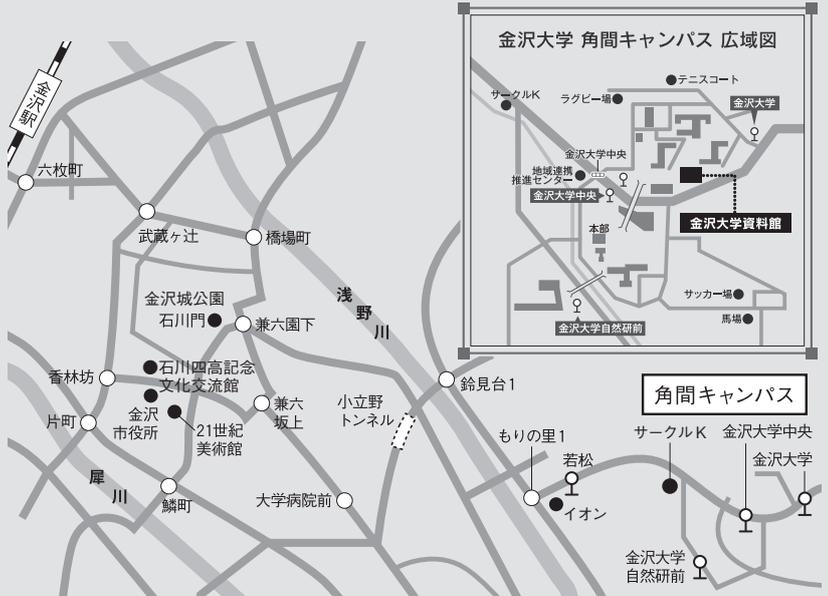
右：四高手ぬぐいコレクション（上1枚：本館蔵、下2枚：四高同窓会蔵）
 左上：超然趣意書（四高同窓会蔵）
 左下：岡上梁書「超然」の扇（四高同窓会蔵）

特別展企画にあたって

金沢大学の前身校のうち最も規模が大きく、かつ著名なのが、旧制第四高等学校、通称四高（しこう）です。金沢市中心部の仙石町にあったそのキャンパスは、金沢大学となってからもしばらく使われ、多くの卒業生に親しまれましたが、1964年の理学部の城内キャンパス移転によって県に移管され、1968年に中央公園となり、建物は本館のみが石川近代文学館として残されました。近年、金沢の近代のシンボルとして四高の歴史が見直されつつあり、本館は2008年に複合文化施設「石川四高記念文化交流館」となり、公園も本年6月に「いしかわ四高記念公園」と改称されました。四高の後身である金沢大学でも歴史的なアイデンティティとして四高とのつながりが見直されつつあり、その実験機器や標本・教育掛図等は、いまや本学の「宝」となっています。さらにその関心は四高の校風「超然主義」にまで及んできており、今年度創設された学内GPには「超然プロジェクト」の名称が冠されています。しかしながらこの四高の「超然主義」とは何かについて、十分な説明ができる人は、四高OB以外にほとんどいないようです。そこで、本資料館特別展では、「超然主義」の意義と四高の伝統を明らかにし、金沢大学が将来に向けて発展してゆくために、継承すべきものは何かということを問いかけてしたいと思います。多くの方のご来場をお待ちしています。



金沢城から見た第四高等学校の全景（四高同窓会蔵）



アクセス
 北鉄バス「金沢大学行き」に乗り「金沢大学中央」バス停下車、徒歩5分
 JR 金沢駅東口からの所要時間は40分

超然 ～第四高等学校の校風と学生たち～ 2014/10/15～11/28 10時～17時

（日曜・祝日及び10月18日（土）閉館。ただし、11月2日（日）3日（月・祝）は開館）

会場：金沢大学資料館展示室（中央図書館内） **入場無料**

問い合わせ先：金沢大学資料館 TEL 264-5215 museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

★本資料館では同時期に、写真展「よみがえる城内キャンパス」（10月28日～11月6日、会場：金沢城公園鶴の丸休憩所）も開催しています

